

## ねぷたまつり活動報告

皆さんこんにちは、理工学部4年南部真人です。いろいろ落ち着きましたのでねぷたまつりの活動報告をしようと思います。

ことの始まりは、「のんちゃんのねぷたを作って運行させたい」という僕の発言でした。今年のねぷたまつりには間に合わないだろうけれど、近いうちにできればいいなと思っていました。しかし……

### 7月8日

市民との話し合いの場が設けられる（僕は不参加。ねぷたの案を伝えてもらう）。大賛成で採用され、わずか3週間という超短期間での制作が決定する。嬉しくて一日中ニヤニヤしている。次の日から、間に合うか不安で苦笑いに変わる。

### 7月21日

学生、市民、教員の数名が、神さん（真っ先にのんちゃんねぷたに大賛成してくれた）宅のある青森市へ。神さんの友人である坂本さんが、写真だけをもとに立派なのんちゃんの骨組みを作ってくれている。一同驚愕。その話を聞いて僕の苦笑いが少し和らぐ。

### 7月22日

ねぷた作りに使う材料を買いに行く。弘大ねぷた実行委員代表の亀谷さんから、弘大ねぷたの小屋の使用許可をいただく。急な申し出だったのにありがたい。

### 7月23日

電球をつけるための配線作業。東北大学の戸さん、電気工事士の資格を持つ市民の猪俣さんにより行われる。僕は理工学部だが全くわからない。また苦笑い。

### 7月24日

電球の取り付けが完成する。紙を貼付ける作業に取りかかる。初心者が多いなか、市民の阿保さんが中心となり様々なテクニックを伝授してもらいながら作業を進める。

### 7月25日

紙貼り作業の続き。僕も初挑戦する……難しい！市民の角田さんが初挑戦なの

にものすごくうまい！手先の器用さにちょっとドキッとする。阿保さんが朝に畑でとれたきゅうりを持ってきてくれる。うまい！自称善良なる弘前市民こと清藤さんが差し入れのコロッケを買ってきてくれる。うまい！自称後期高齢者の高橋さんからアイスの差し入れ。うまい！こりゃ毎日来るしかないなと思う。

### 7月26日

今日も差し入れがおいしい。紙貼り作業が完成する。イラスト関係に詳しい三上さんが目や口を墨で書いてくれる。のんちゃんの色もうまく調合して作ってくれる。溶かした蠟を目や口や、色の変わる境界に塗っていく。李先生の娘さん2人（どちらも小学生）も手伝ってくれる。李先生に似てかわいい。作業終了直前で大雨が降る。雨漏りがすごい！屋根はどうなってる？誰かが、やーねーと言っていたが、あまり追及しないことにする。



紙貼り作業



紙を貼り終えて目と口が入る

### 7月27日

今日も差し入れがうまい！雨漏りが修理されている。市民の成田さん（青森から弘前までのんちゃんをトラックで運んでくれた）から貸していただいた灯籠に、絵や文字を書いた紙を貼る。書道サークルの学生である金子さん、稲葉さんが達筆すぎる。一方、のんちゃんには色を塗る。善良なおじさんが「俺は匠だ」などと言いほとんどを塗る。僕には右手の一部（しかも裏の見えないところ）しか塗らせてくれない。でも僕が塗ったところが一番きれいだ！

そしてついに、のんちゃん完成！！！！

## 7月28日

やはり差し入れが嬉しい。灯籠制作の続きとプラカードの制作。夕方からは市民の成田さんが司会でワークショップを行う。みんなで今後の野田村支援活動について考えた。終了後、参加者のみんなにのんちゃんお披露目！ライトアップもしてステキ！『日本一かわいいサケの稚魚だよ、のんちゃん。』

## 7月29日

ついに灯籠とプラカードも完成！こんな短期間でここまでできるなんて！たくさんの方の協力や援助（差し入れも含む）があって完成した。特に市民の方の協力が大きかった。正直なところ学生の協力がもっと欲しかった。あとは当日に盛り上げるだけ！学生にたくさん呼び掛けねば。

## 7月30日

野田村へボランティア。

## 7月31日

弘前公園で横笛ギネスに挑戦！見事ギネス達成！これで僕も世界記録保持者となり市役所職員採用最終試験のため北海道へ。



色を塗る匠



野田村の人たちにお披露目

## 8月1日

ついにねふた運行初日！この日は野田村から40名を招待しており、のんちゃんねふたもお披露目することに！時間の都合で待機中の状態しか見てもらうことはできなかったのだが、皆さんとても喜んでいて韓流スターを見るかのような眼差しだったとか。そしてついに7時運行開始！あまり人が集まらないので

はないかと心配していたが、たくさんの方が集まってくれて大盛り上がり！僕が北海道から帰ってきて8時頃に合流すると、たくさんの方が元気に出迎えてくれて感動する。『のんちゃん、大勢の人の前で堂々とたくましいね。そして野田村の人たちに喜んでもらえて本当に良かったね。この調子で次回も頑張ろう。』

### 8月3日

運行2日目。事務局をいつも頑張ってくれている日野口早希ちゃん（人文3年）の誕生日！それも講じたのか、初日より多くの方が集まりさらに活気が増す。わざわざ青森市から来てくれた人や、以前寝坊でボランティアに行けなかった分頑張りたいという人、運行前にビールを5缶も飲む人、独り身は寂しいけどやっぱり俺は独り身で生きていくことにすると決めた人…。適切な表現かわからないが、愉快的メンバーが集まった。のんちゃんは観客席の前でトルネード！『これで大人になって海に出たとき、鳴門海峡に行っても大丈夫だね、のんちゃん。』

### 8月5日

運行最終日！降水確率60%、ヤバイ！しかもゲリラ豪雨注意報！絶対降る。誰もがそう思った…しかし！！ 数粒の雨が降ったかと思うと雨雲はどこかに行ってしまう。見よ、これが僕たちのパワー！人もたくさん集まり10個増やした灯籠も余ることなく、弘大の一大行進が行われる。中には、まだボランティアに行ったことがないが、これを機に行ってみたくなったという声も。そして最終運行も無事終了。みんな本当にいい笑顔だった。のんちゃんもなんだか達成感で溢れているように見える。『のんちゃん、3日間お疲れ様。のんちゃんのおかげでたくさんの方が元気になって、素晴らしい思い出ができたよ。どうもありがとう。8月27日には野田村の復興祭に行って、たくさんの方の野田村の人たちに元気を届けよう。そのときもよろしくね！』



出発前の最終調整



弘大の一大行進



このように多くの人々の協力で、見事、大盛り上がりのねぷたまつりにすることができました。ここには一部の人々の名前しか書けませんでした。協力してくれたたくさんの方々、本当にありがとうございました。僕の何気ない発言がこんなに多くの人に支えられて実現するなんて、思ってもいませんでした。僕は来年には卒業ですが、それまで野田村を元気にする活動を精一杯行っていきたいと思っています。ねぷたまつりをこんなに盛り上げることができるメンバーがいれば、野田村は絶対元気になると思います。これからもみんなで協力して野田村に元気を届けましょう。



(担当 南部 真人)